

互いを思いやり認め合って、  
自分の生き方を創り出すことが  
できるようにします

【知】 意欲と自信をもち、主体的・対話的で深い学びを目指す子どもを育てます

【徳】 自分や仲間のよさを見つけ、豊かな関わり合いをもてる子どもを育てます

【体】 自分や仲間の生命と身体を大切にする子どもを育てます。

【公】 地域を愛し、共に歩むことができる子どもを育てます

【開】 社会に目を向け、これからを考えることができる子どもを育てます

## ■ 新田小学校の《キャッチフレーズ》 ■

あかるい学校 たのしい授業

平成30年度

# 学校経営方針

あかるい学校 たのしい授業

- ◆自己の充実
- ◆人間関係
- ◆意欲と学力の向上
- ◆安全に対する構え

## 「主体的・対話的で深い学び」の実現

### ■あかるい学校■

豊かな学級・学年づくり(人間関係)

▼人間形成、小中一貫、児童・生徒指導、  
安全管理、進路指導、保健管理、  
特別支援、組織運営、地域連携、教育環境▲

○学級担任、教科担任として、魅力ある授業や活動を創る。

子どもたちの思いや願いを大切にし、「よりよい自分づくり」を後押しする。

- ・魅力ある先生・大人・先輩 ・やる気の尊重 ・思いの創出と後押しする声かけ
- ・みんなの教室（個性的、こぎれい） ・期待をもたせる

○友達のよさに気づき共に成長できる学級・学年・学校での取組を活発にする。

- ・子どもの「よさ」に目を向けた活動の重視 ・「よさ」を広げる試み
- ・〈よい先入観・ねらい〉、〈成果と課題の振り返り〉を大事にする

○よさの発見・発信を積極的に行い、みんなでよさを共有できるようにする。

- ・きめの細かい見取りとよさの全体化 ・「よさ」を振り返る、味わう

○あいさつ・返事・正しい言葉づかいができる子の育成を目指す。

- ・明るい自分・積極的な自分を主張 ・「心」の育成 ・好かれる子ども

## ■ たのしい授業 ■

(学ぶ意欲と自信 基礎・基本)  
▼学力形成、小中一貫、校内人材育成、  
教育課程・学習指導、進路指導、  
特別支援、研究研修、教育環境▲

○基礎・基本を大切にし、〈たのしい授業〉を目指す。

- ・ノート指導 ・家庭学習とたのしい宿題 ・たのしいドリル
- ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を心掛ける。

○子どもの思いや願い・声を反映した『〈意欲〉と〈自信〉を育てる授業』を創造する。

- ・学びがいのあるたのしい内容や方法 ・できる喜びが味わえる授業
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実践

○ねらいに沿った、それを確実に見取る「指導と評価の一体化」を心掛ける。

- ・〈関心・意欲・態度〉の充実 ・〈思考力・判断力・表現力〉の育成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の深化と充実

---

## ☆ 安心・安全な学校 ☆

(全ての基礎として)  
学校安全＊情報管理  
▼児童・生徒指導、安全管理、  
保健管理、地域連携、教育環境▲

○126年の重みを受け、保護者・地域の方々・子どもたちの期待に応える。

- ・「新田小学校に在籍してよかった」と思えるような学校 ・親の気持ちの理解
- ・地域の願いの理解 　そして、教職員の充実と満足感

○非常時の安全対策の充実、自分が何をすべきか判断できる職員や子の育成

- ・新田小学校に対する誇りと自覚 ・「未然防止」と「迅速な対応」
- ・教師・子どもがともに安全を考える「毎月15日は〈安全の日〉」
- ・子どもたち・教師の「危険予知力」を上げる。 　〈気づき〉と〈想像力〉

# みんなの力の結集「学年運営」

—苦楽をともに—

## ◎担任としての誇りと責任、自信

- ・得意なことを惜しみなく出す。
- ・最初の1週間、1か月で「学級を組織する」「ルールを確立する」「授業を創る」

## ◎一人でクラスの問題を抱え込まない。（いつでも、どこでも、三人寄れば、「学年研」）

- ・クラスの問題は学年の問題。 ■話すこと・終わりの時刻を決める
- 
- ・楽しいこと・うれしいことも共有。
- ・日々、どういうことが起こるか「予想」しながら指導する。これがく見通しをもつ  
>こと。
- ・学年や学校で行うことは、周りによく相談して実施。
- ・学級でややこしい問題が起こったり保護者から面談を持ち込まれたりしたら、複数で対応。
- ・学年主任、同学年、時にはブロックリーダーも交えて、みんなで対策を考える。

## ◎学年の子どもをみんなで見ていく・育てていく

- ・学年の子全員を担任するつもり。何かやるときは、連絡（「知らなかった」がないように）。
- ・一緒に教材研究。例えば、体育、理科の実験、図工、生活
- ・積極的に、「教科担任」「教科分担」を行い、複数の目で子どものよさ・問題点を探る。改善点などを理解するのに直結し、役立つ。

## ◎すべきことはきちんと計画的にすばやくやる

- ・週指導計画（週案）をきちんと。目標・内容・時数・評価を常にチェックする。
- ・週案の記述は、教科・道徳・行事は「本時目標」「本時の主な評価観点」  
「たし算 繰り上がりのある1位数同士の計算のやり方を考える [考]」のよう  
うに  
「たし算 繰り上がりのある1位数同士の計算の習熟を図る [技]」のように  
「単元名だけ」「教科書のページ数だけ」「内容だけ」「活動だけ」にならないよう  
に。
- ・ちょっとの時間を大切に作る。

## ◎学年研ノート

- ・「備忘録」「来年度の計画立案のヒント」と心得て、しっかり記録。週案とともに提出。
- ・話し合ったことを記録・提出することによって報告になる。記録係を決めてもいい。

## ◎学年の会計

- ・計画は見通しをもって、緻密に、すばやく。
- ・原則として「現金購入は避ける」「立替払いは行わない」。
- ・特定業者ばかりから注文せず、均等に、平等になるように配慮する。
- ・毎学期、支払い・会計報告をする。・年度末に鉛筆やノートなど買わなくていいように。
- ・校外学習などの会計報告も、速やかに1~2週間の内に。

◎情報の発信

- 「行事予定・学習予定、連絡とお願い」だけの学年だよりからの脱却。
- 学年の目標、課題、進捗状況、成果、子どもたちの様子など、よい情報を日常的に発信。手紙、電話、付箋、面談、訪問など、いろいろな方法で。

\* 「業務改善」と「環境整備」 「気づき」と「想像力」 がキーワード  
\*